

JA伊達みらいの環境

位置

福島県中通り北部

JA伊達みらいは東京駅から北に280km、新幹線で福島駅まで90分の距離に位置しています。

福島県の県北地方、福島盆地の北部に位置し、北隣りが宮城県白石市です。

交通は東北新幹線、東北本線、東北自動車道、国道4号線が南北に伸びる交通上の要所となっています。

北西部には海拔863mの半田山、東部には相馬市との境に海拔825mの霊山を最高峰に阿武隈山系の山々が連なる盆地であります。

水系は伊達地域の中央を流れる阿武隈水系に属し、これら中小河川の流域に沿って平地が形作られ農産物の作りやすい耕地となっております。

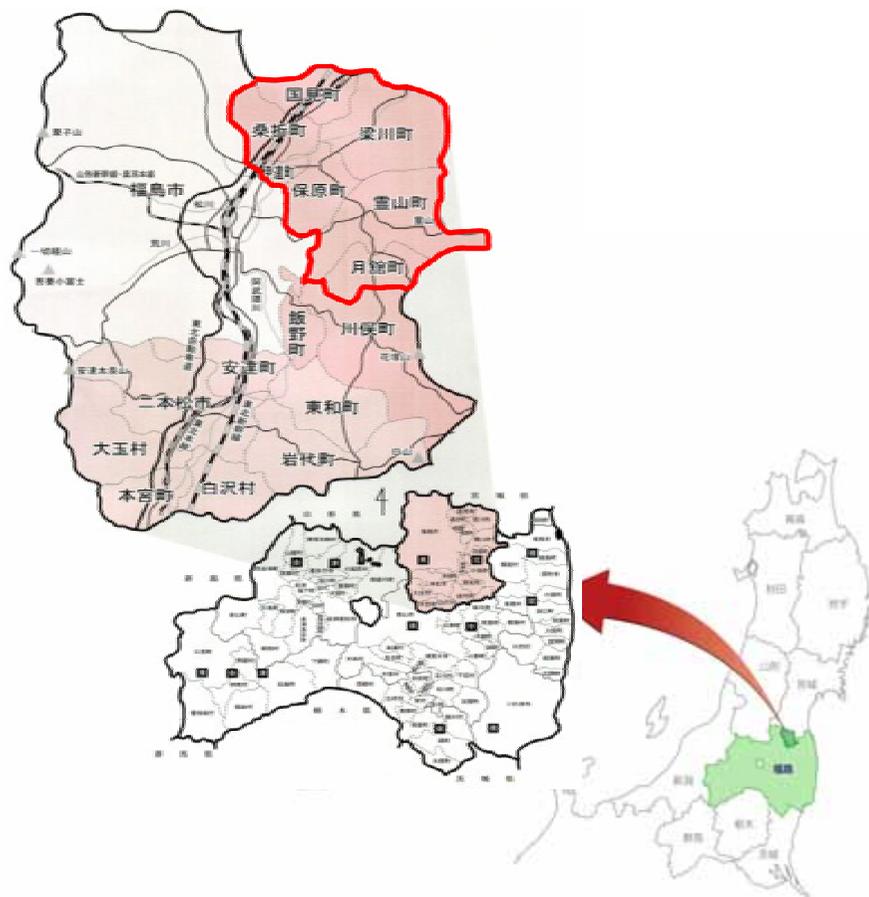
気候

奥羽山脈と阿武隈山地に挟まれ、自然環境に恵まれた盆地特有の気候です。

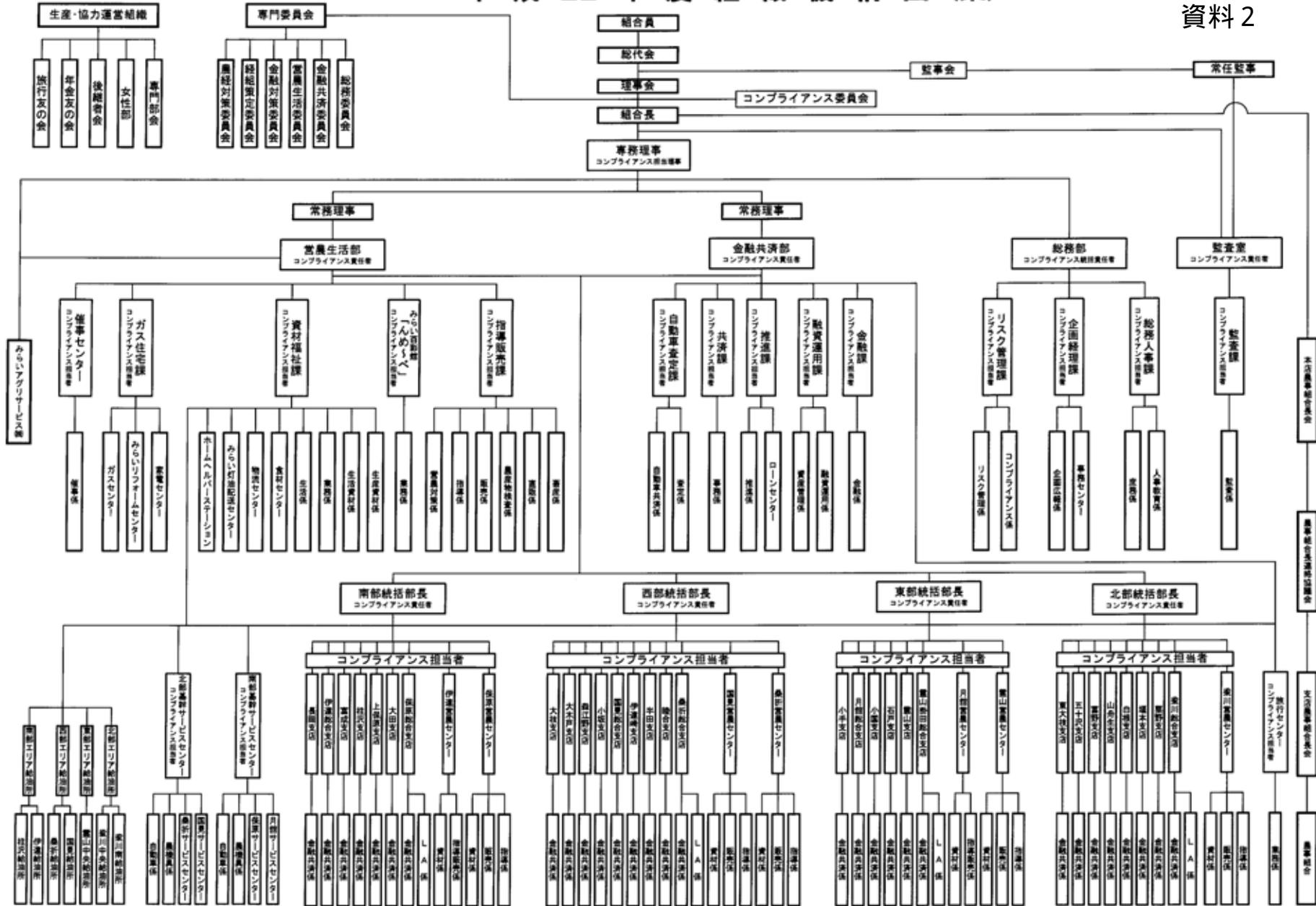
盆地のため、内陸性気候に属し、春は日照時間が多く、空気は乾燥し、気温は急速に上昇しますが、5月半ば頃までは遅霜のおそれがあります。

夏は最高気温が36度と高温多湿、冬は最低気温マイナス5度とやや低温となりますが積雪は平均10cm程度と比較的少なく、東北地方としては温暖な地域です。

年間平均気温は、10～13℃、年間総雨量は1,100～1,300mmと、水稲・野菜・果樹の栽培に適した環境です。



平成 22 年度 組織機構図 (案)



JA伊達みらいの誕生

資料3

合併の経緯

平成 7年3月 福島県伊達郡の6町6JAが合併

保原町農業協同組合 桑折町農業協同組合 福島国見町農業協同組合
伊達町農業協同組合 霊山町農業協同組合 福島月舘町農業協同組合

平成 9年3月 梁川町農業協同組合と合併

平成18年1月 市町村合併で5町が合併して1市2町に

伊達市(保原町 伊達町 霊山町 月舘町 梁川町) 桑折町 国見町

合併当時と現在の比較

	平成 9年度末
組合員	18,646人
(うち准組合員)	7,145人
出資金	3,877,557千円
役員	43人
(うち常勤理事)	5人
正職員数	462人
准職員	144人



平成22年2月末	比較
29,385人	10,739人
17,817人	10,672人
4,186,807千円	309,250千円
43人	± 0人
5人	± 0人
386人	▲ 76人
171人	27人

JA伊達みらいの事業の推移

資料4

合併当時と現在の比較

平成 9年度末		
貯 金		82,030,440千円
預 金		54,049,265千円
貸出金		23,009,763千円
有 価 証 券		8,080,440千円
長期共済新契約高		62,909,060万円
購買供給高	生 産	5,792,589千円
	生 活	2,175,277千円
販 売 高	穀 類	1,222,379千円
	野 菜	3,913,680千円
	果 実	7,160,393千円
	畜 産	551,267千円
	その他	721,633千円
	合 計	13,569,352千円

平成20年度末			比 較
貯 金		115,682,171千円	141%
預 金		73,455,334千円	136%
貸出金		32,750,262千円	142%
有価証券		9,779,605千円	121%
長期共済新契約高		81,538,740万円	130%
購買供給高	生 産	5,064,485千円	87%
	生 活	2,298,914千円	106%
販 売 高	穀 類	643,954千円	53%
	野 菜	3,165,497千円	81%
	果 実	6,181,443千円	86%
	畜 産	154,230千円	28%
	その他	710,576千円	99%
	合 計	10,855,704千円	80%

担い手対策

品目横断的経営安定対策

JA出資型農業生産法人

みらいアグリサービス株式会社

を平成18年7月19日に設立

農業経営

- ・農業生産法人として農地を借り受け、地域農業の担い手となる
- ・品目横断的経営安定対策の受け皿として農地の集約化を図る

農作業受託

- ・農地保有合理化事業等により受託区域を担い手ごとに集積
- ・ライスセンター、転作、育苗組織と事業提携して作業を委託

農作業労働力斡旋

- ・農家からの要望により農繁期の安定した農作業労働力を提供
- ・求人者（農家）から紹介手数料を徴収

遊休農用地の利活用

- ・農業従事者の高齢化や都市化による担い手不足
- ・農作業受託を含め、農家間の遊休農地の賃貸借を支援（JA本体）

農産物の加工・販売

- ・伊達みらい特産「あんぼ柿」の加工、販売
- ・平成19年度より大豆、加工用トマト、加工用人参を作付け

JA伊達みらいのブランド農産物 ～もも～

資料6

販売取扱高NO. 1

桃31億円



「桃」は、伊達みらいを代表する基幹作物です。

7月の早生種から始まり9月の晩生種まで、福島の夏を代表する果物として、その味わいは多くの消費者から高い支持を得ています。

農家が収穫した桃は、管内5ヶ所ある共選場で、光センサー選果により糖度・色・形状を測定。「おいしさの粒ぞろい」として、安定した品質での出荷を行っています。



皇室への献上桃として

管内の桃は、献上桃としてもその名を知られています。県知事が皇室に献上する「献上桃」として、毎年選ばれています。

JA伊達みらいのブランド農産物 ～あんぽ柿～

資料7

冬に出逢える伝統の味 あんぽ柿20億円

「蜂屋柿」や「平核無柿」を原料に、伝統ある独特の製法で仕上げられた冬の味覚『あんぽ柿』。あんぽ柿の加工に適した風土と農家の技が生み出す伝統の味わい。天日に干す自然の中での乾燥が、じっくりと柿本来の甘さを引き出しながら、表面は乾燥し、中はトロリとした口当たりで仕上げられています。食物繊維たっぷりの自然派健康食品として注目されています。



気候風土が甘味を引き出す

昼夜の寒暖の差がある気候の中での自然乾燥が、渋味を抜いて柿本来の甘味を引き出します。



JA伊達みらいのオリジナルブランド商品 ～桃・あんぽ柿～

資料8

伊達の蜜桃 匠の想い

管内で栽培される糖度15度以上のあかつきを「伊達の蜜桃」と銘打ち、その桃の中からさらに厳選して選果した特選ランクの桃を「伊達の蜜桃 匠の想い」として販売しています。全国の有名デパートや果実専門店、ネットショップや通信販売でのお中元などのギフト商材として好評を得ています。



福島県品評会 金賞受賞

伊達のおんぽ柿

あんぽ柿が一番おいしい時期をむかえるのが、年が明けた1月の頃。その時期に、最も良い品だけを選んだのが、この「伊達のおんぽ柿」。6,800円で販売

福島県品評会金賞受賞の農家の品だけをそろえた、選りすぐりの限定商品です。

ネットショップや通信販売のみの取り扱い商品で、大切な方への贈り物として人気です。

伊達の蜜桃

福島 桃の恵み

完熟栽培のとまとじゅーす



管内の桃を原料に使用したストレート果汁100%ジュースです。

スッキリとした後味の良い甘さが好評で、全国から購入希望の声が届いています。

伊達の蜜桃は、特に品質の優れた桃を厳選して原料に使用した限定生産のジュースです。

伊達の蜜桃 160g×30缶 4,500円(送料、税込)

福島桃の恵み 190g×30缶 3,000円(送料別税込)

みらいアグリサービス株式会社が遊休農地に作付けした

塩も水も加えてない完熟トマトのうまみをギュツと閉じ込めた無塩100%ジュースです。

みらいアグリサービス株式会社が遊休農地に作付けした品目は、加工トマト、80アール、エゴマ70アール(ドレッシング製造中)、加工人参60アール(イカ人参で販売)になります。

完熟栽培のとまとじゅーす190g×30缶

3,900円(送料・税込)

JA伊達みらいの安全・安心な農業生産

ISO9001:2000の認証

平成15年に
農薬適正使用の指導・監視業務分野
で、全国初の
国際認証規格「ISO9001 2000年版」
を取得しました。



ISO9001認証を受けた業務は「農産物に対する農薬適正使用指導及び監視業務の設計及び提供」で、

- ・生産者への農薬適正使用の指導
- ・防除履歴の確認方法
- ・農薬不正使用が発覚した場合の対処方法

などをマニュアル化し、JA伊達みらいが出荷する全ての農産物において、ISO9001規格に沿った適正な農薬使用の指導・監視業務を徹底することで、消費者へ『安全・安心』な農産物を提供しています。

JA伊達みらいの直売所～みらい百彩館「んめ～べ」2009年7月2日開設～



直売所 んめ～べ施設

- ▣所在地 伊達市雪車町19
- ▣延床面積 510坪 ▣売場面積296坪
- ▣駐車台数 150台 ▣会員 550名
- ▣年間売上目標 平成21年度 2億円
平成22年度 3億6千万円 平成23年度 4億6千万円
- ▣5年後 会員700名 売上高7億円を目指す
- ▣営業時間10時～18時 ▣定休日 毎週火曜日

▣「みらい百彩館「んめ～べ」は地産地消を第一に掲げ、消費者と生産者の交流の場として、安全・安心・新鮮な地場産農産物・加工品などを消費者へ提供することは勿論、年間を通じた伊達地域の豊富な種類の農産物の有利な販売により、更なる農業所得の向上、多様な農業経営の普及、推進に資するとともに、伊達地域農業振興と地域活性化に貢献できる施設として開設致しました。